

令和7年度
第1回千厩小中学校運営支援協議会
～中学校資料～

R7.6.11



【自転車安全利用・鍵かけ推進モデル校指定】



【PTA 環境整備作業】

一関市立千厩中学校

令和7年度 学校経営計画

1 学校教育目標

東山の雄としての誇りをもち、豊かな人間性に支えられたよりよい中学生生活を目指し、知恵と心と体を鍛える生徒を育成する。

2 目指す生徒像（育てたい力）

- (1) 賢く生きる知恵を持つ生徒
- (2) 明るく清らかな心を持つ生徒
- (3) たくましく健やかな体を持つ生徒

3 目指す教職員像

- (1) 生徒第一で物事を判断し、職務に励む教職員
- (2) 「おかげさま」「お互い様」の気持ちをもってチームワークを大切にする教職員
- (3) 教職に使命感と責任感をもち、常に研鑽に励む教職員
- (4) 教育公務員としての自覚を持ち地域や保護者に信頼される教職員
- (5) 千厩中学校・千厩地域に誇りをもち、愛する教職員

4 目指す学校像

- (1) 人権が尊重され、生徒一人ひとりが安心・安全に過ごしている学校
- (2) 教育課題に迅速に対応し、生徒に寄り添い、個に応じた支援に取り組む学校
- (3) 家庭や地域から信頼され、地域とともにある学校

5 学校経営方針

- (1) 東日本大震災を風化させず、その復興・発展を支える人材育成に努める。
- (2) 基礎基本の確実な定着を図り、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努める。
- (3) 思いやりの心や規範意識を備え、自他を尊重する生徒を育成する。
- (4) 健康維持・体力増進のために自ら考え、判断し、実践する生徒を育成する。
- (5) 家庭、地域との連携を深め、開かれた学校づくりを目指す。

6 学校経営の重点と具体的取組

- (1) 確かな学力の定着
 - ア 学習評価を生かした授業改善
【指導と評価の一体化、振り返り、諸調査結果の活用、PDCAサイクル】
 - イ 基礎的・基本的な知識・技能の習得並びに思考力・判断力・表現力の育成
【校内研究の推進、各種検定への挑戦、ICT活用の推進】
 - ウ 授業と連動した家庭学習を意識した切れ目のない継続的な学びの実現
【家庭学習内容の明示と評価、模範提示、タブレットの持ち帰り】
 - エ 一人1台パソコンを活用した個別最適な学習と協働的な学習の推進
【ICT活用の推進、電子黒板の活用、単元指導計画の立案】
- (2) 豊かな人間性の育成
 - ア 命の大切さを理解し、自分の大切さとともに相手の大切さを認める生徒の育成
【交通安全教室、人権作文取組、思春期講演会、情報モラル講演会】
 - イ 節度と規律ある行動を心掛ける生徒の育成
【儀式的行事、修学旅行、応援歌練習、壮行式、生徒総会】
 - ウ 困難や課題を乗り越え、目標に向かい最後まで全力を尽くす生徒の育成
【体育祭、地方音楽発表会、中文連舞台発表、部活動、生徒会役員選挙】
 - エ 特別な支援を要する生徒、学校不適応生徒に寄り添う支援体制の構築
【就学支援委員会、適応支援委員会、ケース会議、SCの支援、外部機関との連携】

- (3) 健やかな心身の育成と危機管理の徹底
- ア 生徒に寄り添い、個に応じた支援に努める。
【いじめアンケート、教育相談週間、学校生活アンケート】
 - イ 学校での居場所づくりや絆づくりを進め、学校不適応やいじめの未然防止に努める。
【対面式、修学旅行、体育祭、芸術鑑賞、紅輝祭】
 - ウ 新体力テストの結果を生かし、計画的・継続的に体力・運動能力の向上に努める。
【新体力テスト、中総体、新人大会、盛岡市内一周継走、駅伝、通信陸上、徒歩通学奨励、補強運動の継続、運動部加入の推奨、地域部活動等への移行完了、部活動の休廃部】
 - エ 「自分の命は自分で守る」という意識を高める。
【各種検診、薬物乱用防止教室、思春期講演会、食育授業、避難訓練、身体測定、保健日より、小中合同引き渡し訓練】
- (4) 保護者・地域との連携及び協働の推進
- ア 学校評価やいじめ防止基本方針など情報発信を行い開かれた学校づくりに努める。
【入学式、体育祭、紅輝祭、卒業式、授業参観、学校HP、各種通信の発行、学校・学年PTA】
 - イ 保護者、地域住民との連携強化を意識し、学校教育の共創を目指す。
【体育祭、社会体験学習、職場訪問、調理実習（食生活改善推進員）、保護者の声アンケート、学校運営支援協議会、学校支援活動、地域部活動等への移行完了、居間9ルールの実行、フィルタリングの設定】
- (5) 特色ある教育の推進
- ア カリキュラムマネジメントを生かした復興教育の推進
【復興朝読書、復興教育講演会、被災地学習、各種ボランティア活動】
 - イ 総合生活力・人生設計力を育てるキャリア教育の推進
【職業調べ、社会体験学習、職場訪問、上級学校調査、高校説明会、副読本の活用】
 - ウ 清明支援学校分教室との連携を図り、インクルーシブの視点に立ち、障がいをもとに正しく理解し、相手の立場を認め接することのできる心の育成に努める。
【儀式的行事、修学旅行、体育祭、ひまわりの背比べ、紅輝祭、クラスマッチ、地方音楽発表会、各教科での交流学习】

7 すべての教育活動の基盤として

- (1) 子供の命を守ること
- ア 常に生徒の安全・安心を第1に考え、大切な命を預かっているという意識を強く持つ。
 - イ 危機管理意識を持ち、迅速な報告・連絡・相談を行い解決に向けた組織的対応を行う。
- (2) 保護者・地域との信頼関係を構築すること
- ア 教育公務員としての自覚と責任を持ち、範となる振る舞いに努める。
 - イ 保護者への素早い連絡や相談を誠実・親身に行い安心感のもと信頼関係を築く。
 - ウ 学校評価や各種委員等の声に耳を傾け、学校運営に反映し、教育の質を高める。
- (3) 保護者・地域と連携を図り開かれた学校づくりに努めること
- ア 情報発信や授業参観、地域人材活用により学校を理解いただき開かれた学校づくりに努める。
 - イ 学校へ子どもを安心して送り出せる学校を目指す。
 - ウ 保護者・地域が「自分ごと」として学校教育を意識できる学校を目指す。
- (4) 教職員相互の連携による組織的な学校運営に努めること。
- ア 全教職員が学校運営計画・経営計画を共通理解し、学校経営参画意識が持てる学校経営を図る。
 - イ 計画的に各種会議などを開催し、柔軟に課題へ対応しながら組織を活性化させる。
- (5) 業務改善に努めること
- ア 公務の合理化や効率化を工夫し、意識して業務改善を行い、働き方改革を推進する。
 - イ 業務改善することで生徒と向き合う時間を確保する。
 - ウ 互いに気付いたことを語り合える雰囲気を作り風通しの良い職場づくりに努める。



千厩中学校まなびフェスト

＜次代を担う千中生の **生きる力** を育みます＞

確かな学力の定着

- 1 「学習した内容や技能が身に付いている」と思う生徒の割合を75%以上にします。
- 2 「授業で、自分の考えを深めたり広げたり、伝えたりすること」ができている生徒の割合を75%以上にします。
- 3 家庭学習で、各教科の課題にしっかり取り組んでいる生徒の割合を75%以上にします。

豊かな人間性の育成

- 1 復興教育の「いきる・かかわる・そなえる」の3つの意味を理解している生徒の割合を70%以上にします。
- 2 「時を守り 場を清め 礼を正す」ができている生徒の割合を90%以上にします。
- 3 自分にはよいところがあると思う生徒の割合を80%以上にします。
- 4 将来の夢やつきたい仕事など具体的な目標をもつ生徒の割合を75%以上にします。

健やかな心身の育成

- 1 学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合を90%以上にします。
- 2 健康を意識した生活（三食を摂る、適度な睡眠、歯磨き習慣、適度な運動等）を送る生徒の割合を80%以上にします。

家庭や地域から信頼される学校

- 1 学校へ子どもを安心して送り出している保護者の割合を90%以上にします。
- 2 地域行事への参加、地域でのボランティア活動に参加する生徒の割合を70%以上にします。
- 3 学校自己評価及び学校評価の結果を公表し、学校経営の改善に努めます。

「まなびフェスト」を実現するために

	項目	目標値達成のための手だて ※自己評価を受けての手立て担当	評価（検証）方法
確かな学力の定着	①「学習した内容や技能が身に付いている」と思う生徒の割合を75%以上にします。	校内授業研究会 一人一授業の実施 互見授業の実施 各種研修会の参加	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	②「授業で、自分の考えを深めたり広げたり、伝えたりすること」ができている生徒の割合を75%以上にします。		生徒アンケート (7月・12月・2月)
	③家庭学習で、各教科の課題にしっかり取り組んでいる生徒の割合を75%以上にします。	学級担任及び教科担任による家庭学習の仕方の指導 家庭学習計画、目標設定にかかわる指導	生徒アンケート (7月・12月・2月)
豊かな人間性の育成	④復興教育の「いきる・かかわる・そなえる」の3つの意味を理解している生徒の割合を70%以上にします。	復興教育副読本の活用（朝読書） 講演会、各教科、礎の時間での復興教育の充実	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	⑤「時を守り 場を清め 礼を正す」ができている生徒の割合を90%以上にします。	生徒会活動の充実、各活動の意義づけ	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	⑥自分にはよいところがあると思う生徒の割合を80%以上にします。	生徒の良さを認めるための意図的な機会の設定	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	⑦将来の夢やつきたい仕事など具体的な目標を持つ生徒の割合を75%以上にします。	進路指導の充実、発達段階に応じた職業学習の充実、職業関連の図書の活用	生徒アンケート (7月・12月・2月)
健やかな心身の育成	⑧学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合を90%以上にします。	生活・学習・部活動など学校生活全般にかかわる指導 家庭との丁寧な連携	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	⑨日ごろから健康を意識した生活（三食を摂る、適度な運動、歯磨き習慣、適度な運動等）を送る生徒の割合を80%以上にします。	保健体育授業の充実、運動習慣、食習慣、生活習慣を関連付けた取組の推進(60プラスプロジェクト)、徒歩通学の推奨	生徒アンケート (7月・12月・2月)
地域に開かれた学校	⑩学校へ子どもを安心して送り出している保護者の割合を90%以上にします。	生活・学習など学校生活全般にかかわる指導 家庭との丁寧な連携 通信等による発信	学校評価アンケート (7月・12月)
	⑪地域行事への参加、地域でのボランティア活動に参加する生徒の割合を70%以上にします。	各市民センター、地域の方との円滑な連携、郷土愛やボランティア精神に関する指導や活動の充実	生徒アンケート (7月・12月・2月)
	⑫学校自己評価及び学校評価の結果を公表し、学校経営の改善に努めます。	学校評価の確実な実施及び組織的検証 HP・通信等による発信	学校運営支援協議会

令和7年度部活動の在り方に関する方針

一関市立千厩中学校

部活動(運動部・文化部)は生徒にとって、多くのことを学ぶ大切な成長の機会であることから、生活・学習とのバランスを図り適切な活動となるよう、本方針を定める。

また、部活動指導を含め教職員の長時間勤務が問題となっていることから、併せてその是正を図り、「働き方改革」を進めるものである。

1、学校の活動方針並びに活動計画の周知

(1) 校長は、毎年度4月に「学校部活動に係る活動方針」を策定し、周知を図ります。

ア 校報や学校HPにより公表します。

イ PTA・部活動三者合同会議等の機会をとらえて、説明を行います。

(2) 部顧問は、以下の計画策定等を行います。

ア 毎月の活動計画を、実施前月までに策定し、校長に提出します。また、同時に生徒、保護者へも情報提供を行います。

なお、校長は、「3(1)」に沿って休養日が設定されていることを確認します。

イ 毎月の活動実績を、実施翌月に作成し、校長に提出します。

2、効率的・効果的な活動の推進

(1) 管理職は、部活動の在り方に関する研修会等(市教委主催等)に参加し、部活動の適切な運営に努めます。

(2) 校長は、部顧問を対象にスポーツ指導等に係る知識及び実技の向上を図るために、年1回以上の研修の機会を設けます。

ア 効果的・効率的な部活動の進め方

(校内の部活動見学、スポーツ医学の見地からの科学的トレーニングや休養のとり方等)

イ 生徒の心身の健康管理

(スポーツ障害の予防、バランスの取れた学校生活への配慮、温度・湿度等の環境への配慮等)

ウ 事故防止(施設・設備の点検、安全対策等)

エ 体罰、ハラスメントの防止の徹底(岩手モデルの周知徹底)

3、部活動休養日と活動時間の基準

(1) 休養日

毎週、「月曜日と日曜日」を、部活動休養日とします。

ア 大会等のため、部活動休養日に活動した場合は、代替日を必ず設定します。

イ 日曜日に大会等で活動をした場合の代替日は、近い時期の土曜日や祝日に充てることを原則とします。

(2) 1日の活動時間

原則として、平日で2時間程度、休業日は3時間程度とします。

・土日の大会参加や練習試合等で、基準を超える場合はこの限りではない。

(3) スポ少・保護者会・地域部活動(休日型・全日型)・地域クラブ活動との連携

ア 校長及び部顧問は、スポ少・保護者会・地域部活動(休日型・全日型)・地域クラブ活動と連携を図り、生徒にとって適切な練習時間となるよう協力を要請し、生徒の心身の健康のバランスを図ります。

イ 校長は、平日の活動時間が20時を超えないよう関係団体に協力要請を行います。

4、地域部活動について

地域で指導者の確保等の運営体制が組める場合には、学校部活動から地域部活動への移行を推進し、持続可能な部活動への取組を推進します。地域のスポーツ、文化芸術団体等と連携した部活動の実施を進めていきます。休日における地域の環境の整備を着実に推進していきます。

地域部活動(休日型)	地域部活動(全日制)
<ul style="list-style-type: none">・平日は主に学校部活動、休日は地域部活動。・顧問となる教員がいる。・顧問は基本的に平日のみの関わり。休日は地域指導者や保護者の見守り体制による指導。	<ul style="list-style-type: none">・平日も休日も地域部活動。・顧問はなく、学校担当が学校窓口。・平日も休日も地域指導者や保護者による指導・運営体制。

○R7の状況（顧問名）、【学校担当者名】

部活動	バレーボール女子（戸羽）、バドミントン（伊東・和山）、卓球部女子（羽柴）、総合文化部（佐藤公）
地域部活動（休日型）	ソフトボール（岩渕）、ソフトテニス男子（佐藤聖）、ソフトテニス女子（野崎）、剣道部（伊藤玲）、吹奏楽部（服部）
地域部活動（全日型）	野球【菊池悟】、バスケットボール男子【川村】、バスケットボール女子【菊池雅】、柔道【副校長】
地域クラブ活動	サッカー【菊池孝】、バレーボール男子【新沼】、卓球部男子【鈴木】

5、部活動加入について（「全員加入制」から「加入推奨制」への移行）

国や県において部活動を「自主的・自発的な参加」とすることが強調されていることから、必ずしも加入を義務づけない方向としますが、部活動の教育的意義が大きいことから、任意を基本としつつも部活動への加入を推奨していきます。

6、部活動における安全対策

- (1) 生徒の健康観察、健康状態を把握します。
- (2) 個人の能力に十分配慮した練習計画・指導（段階的な指導）を行います。
- (3) 顧問不在時の対応、他の部顧問との連携を図ります。
- (4) 顧問等不在時の練習内容を徹底します。（基本練習に限るなどの危険性の低い内容 等）

<参考>

- 1、一関市「部活動の在り方に関する方針」（R6.4.1 一関市教育委員会）
- 2、岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針（R6.1月 岩手県教育委員会）
- 3、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（H30.3 スポーツ庁）
- 4、文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（H30.12 文化庁）

令和7年度

千厩小中学校運営支援協議会

第1回学校運営支援協議会

日時 令和7年6月11日(水) 10:30~12:00

場所 千厩小学校 かがやきホール

《 次第 》

1 開会の言葉

2 会場校校長あいさつ

3 自己紹介

4 授業参観

5 議事

(1) 会長・副会長選出

(2) 学校運営支援協議会について

(3) 令和7年度の学校運営の基本方針について(小学校、中学校)

6 その他

7 閉会の言葉



令和7年度千厩小中学校運営支援協議会名簿

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	一関市立千厩小学校	校長	伊東 洋司	
2	一関市立千厩小学校	PTA会長	小野寺貴幸	
3	一関市立千厩中学校	校長	坂本 真	
4	一関市立千厩中学校	PTA会長	佐藤 ひかる	
5	一関市立千厩小学校	元学校評議員	千田 恭平	
6	一関市立千厩小学校	元学校評議員	千葉 秀一	
7	一関市立千厩小学校	元学校評議員	菅原 教子	
8	一関市立千厩中学校	元学校評議員	菅野 博	
9	登下校見守り隊	千厩地区隊長	金野 健太郎	
10	千厩地区まちづくり協議会	副会長	小山 妙子	
11	小梨自治振興協議会	会長	三浦 俊雄	
12	奥玉振興協議会	会長	菅野 政彦	
13	磐清水自治協議会	会長	小野寺 敏男	
14	一関市立千厩小学校	副校長	小島 睦	
15	一関市立千厩中学校	副校長	高橋 走	

★会長副会長の選出

会長	
副会長	
副会長	
副会長	

千厩小学校・千厩中学校運営支援協議会

R 7 . 6 . 1 1

千厩小学校・千厩中学校は、千厩、奥玉、磐清水、小梨、清田の5つの地区で成り立っています。児童生徒の減少に伴い、現在の千厩中学校は、平成12年4月に、千厩小学校は、平成30年4月に統合・創立しています。今回の千厩小・千厩中学校運営支援協議会設立にあたり、それぞれの地域の豊かな教育資源を活用した活動、また、そこで培われる地域の方々とのつながりを支柱とし、本協議会を推進していきたいと考えています。

<組織>

千厩小学校校長、PTA会長、
千厩中学校校長、PTA会長、
千厩小中から元学校評議委員、
各地区協議会等代表、
登下校見守り隊長
千厩小副校長、千厩中副校長

○オブザーバー 地域振興課、地域コーディネーター
○庶務 千厩小中学校

<協議会活動>

○ 活動目標

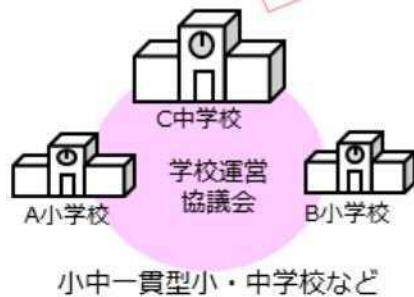
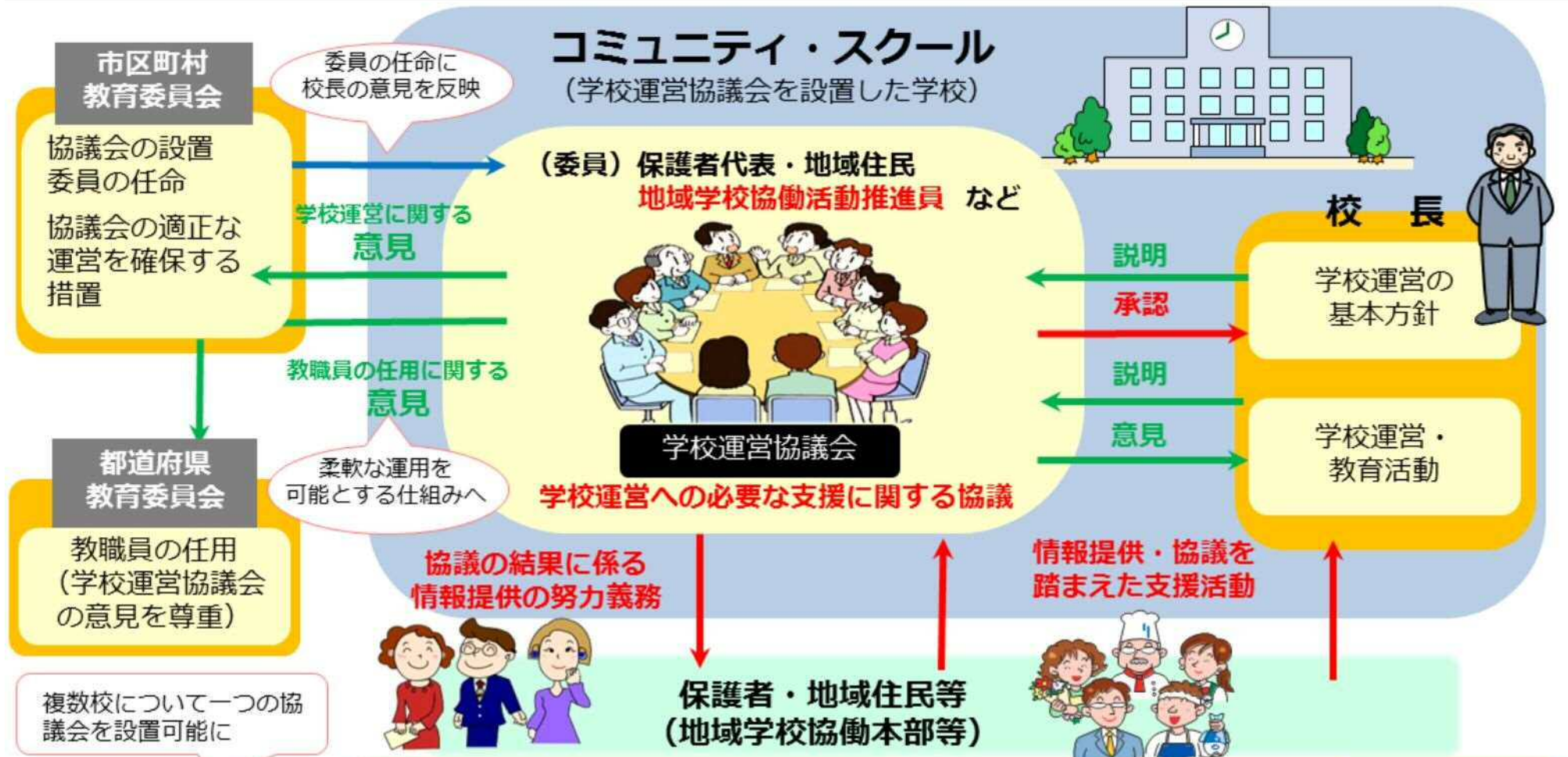
学校運営支援協議会で協議された内容を学校・家庭・地域が共有し、その実現にむけて、地域ぐるみで活動や運動を展開していく。

○ 活動内容 授業参観、学校経営、学校諸課題に関わる熟議 他

○ 会議 年3回(予定)

回	月	場 所	内 容
第1回	6月	千厩小学校	組織づくり・学校経営基本方針等
第2回	10月	千厩中学校	学校経営経過報告・学校評価・諸調査結果等
第3回	2月	千厩小学校	学校評価・次年度の学校経営方針等.00.00654

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



<学校運営協議会の主な役割>

地教行法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

令和7年度 学校経営構想

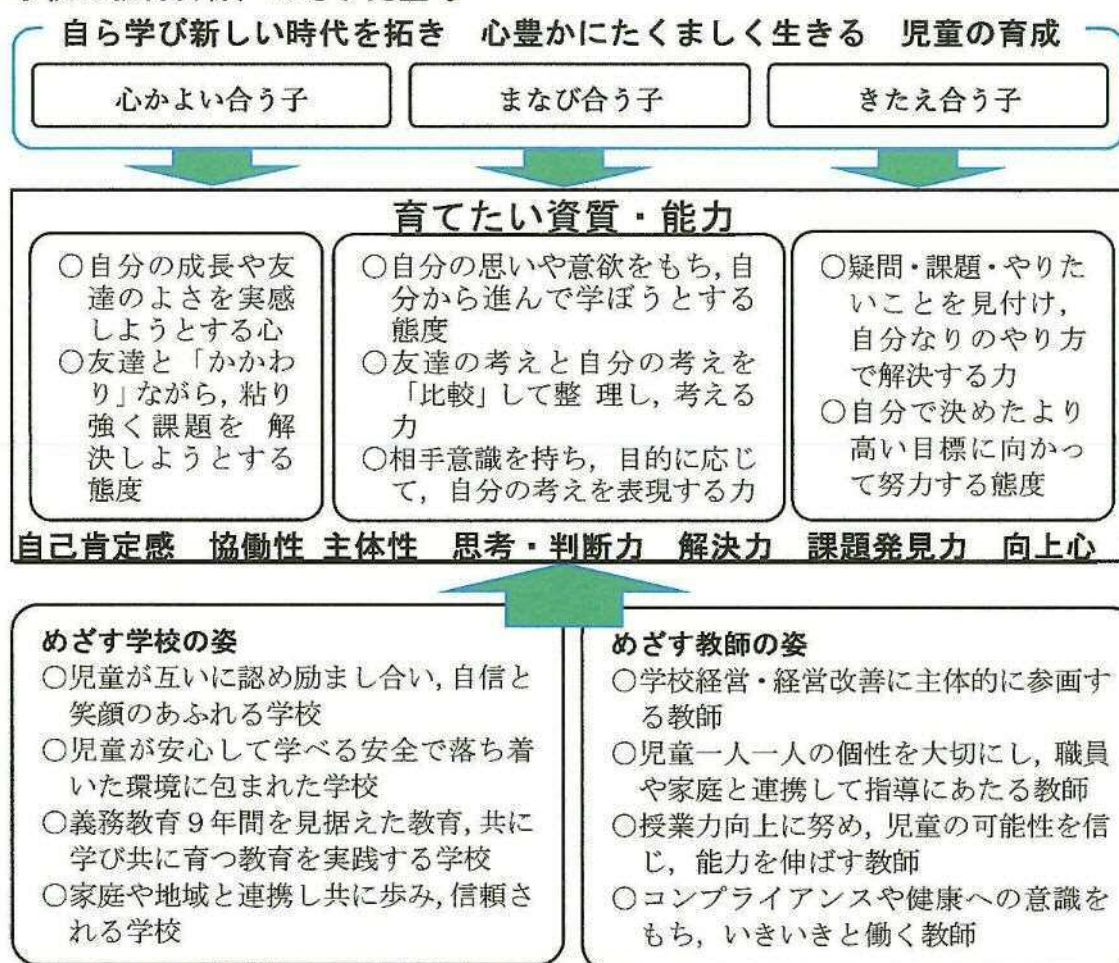
1 学校経営の方針

学校でなされる全ての営みは、教育の目的及び目標の達成を目指して行われる。特に、これからの時代を生きる児童には、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の作り手となることが求められている。私たち職員は、「児童の『未来』に関わっている」との意識をもち、学校（教育機関）の責任を果たしていかなければならない。そこで、全ての児童に「確かな学力・豊かな人間性・健康や体力」の知・徳・体（生きる力）、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力の育成に組織的に取り組んでいく。

取組にあたっては、

- ① 課題を見つけ主体的に学びに向かい、必要な情報を選択し、自ら知識を深めて能力を伸ばそうとする児童
- ② 根拠をもって考えを伝えるとともに、相手の考えを理解して自己の考えを発展させ、思いやりをもって協働できる児童の育成を重視し、創造的に学習活動を展開し、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、保護者や地域との連携及び協働により実現を図っていく。また、まなびフェストを中心としたPDCAサイクルによる目標達成型の学校経営を推進する。

2 学校の教育目標、めざす児童等



3 学校経営の重点

(1) 豊かな人間性の育成をめざした、心かよい合う学級経営と生徒指導 (つきたい主な資質・能力⇒自己肯定感 協働性)

- ①思いやりの気持ちをもち、互いを尊重し合える児童の育成
 - ・「いじめ防止基本方針」をもとに、組織的な児童理解を深め、教職員の共通理解と共通実践による生徒指導の充実を図る。
 - ・特別活動、道徳の時間の充実を図り、体験的活動を通して実践力を育てる。
 - ・様々な教育活動を関連させ、ソーシャルスキルの育成と自己肯定感を育てる。
- ②責任をもち、協力して活動できる児童の育成
 - ・縦割り活動や児童会活動、学級活動等、児童相互の関わり合いを通して相手を思いやり、自己有用感をもたせるための活動を展開する。
- ③場に応じた言葉づかいや挨拶、行動ができる児童の育成
 - ・挨拶や返事の励行と場に応じた言葉づかい、行動を身につけさせ、社会生活に必要な態度の基礎を育てる。

(2) 学び合う姿勢の育成と分かる授業づくりによる確かな学力の定着 (つきたい主な資質・能力⇒主体性 思考・判断力 解決力)

- ①自ら学ぼうとする児童の育成
 - ・分かる喜びや共に学ぶ楽しさが実感できる指導の工夫を行う。
 - ・授業改善を通して、自ら学ぼうとするための手だてを講じる。
 - ・授業改善を通して、対話の充実を図るための手立てを講じる。
 - ・校内研究、研修をとおして、職員の指導力の向上を図る。
- ②基礎的・基本的な学力を身につける児童の育成
 - ・単位時間の中に練習や補充、習熟の時間を設け基礎基本の定着を図る。
 - ・ことばの時間等により確かな言語能力を身につけさせるとともに、漢字や計算の基礎的な力を身に着けるための集中的な取組を行い、達成感をもたせる。
 - ・校内読書、家庭読書の習慣化を図る。
 - ・諸検査の分析をもとに数値目標を設け、達成に向けた具体策を全校体制で進める。
- ③ICTを活用した授業デザインの構築
 - ・「個別最適な学び」「協働的な学び」を観点に、ICTを活用した学びを充実させる。
 - ・情報活用能力の向上を目指すとともに、活用方法や決まり等を明確にした情報モラルを育成する。

(3) たくましい心と体、健康・安全意識の育成 (つきたい主な資質・能力⇒課題発見力 向上心)

- ①生活リズムを整え、健康に生活できる児童の育成
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」や適切なメディア利用、衛生習慣を実践し、健康の保持増進ができるようにする。
 - ・食生活の見直しや運動の日常化等、肥満の改善と予防の取り組みを進める。
- ②目標をもち、根気強く体を鍛える子の育成
 - ・運動能力調査結果の課題解決や基礎体力の向上を目指した体育指導の充実を図る。
 - ・保健、安全、食育等の指導を充実し、自己管理能力を身につけ、健やかな体の育成を図る。
- ③決まりの意味を考え、安全を意識して生活できる子の育成
 - ・生活安全や交通安全、防災の意識を高め、判断力を養い、安全な生活が送れるようにする。
 - ・家庭や地域の中での実践を図り、生き抜く力を身につける「いわての復興教育」を推進する。

(4) 特別支援教育の充実と一関清明支援学校千厩分教室小学部「ハピきら」学級との交流・共同学習の充実

- ①特別支援教育の充実
 - ・全校の共通理解や家庭連携を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を計画的に進める。
 - ・通常学級においても特別支援教育の視点を取り入れた学級経営や授業展開を進め、個に応じた支援の充実を図る。
- ②一関清明支援学校千厩分教室小学部「ハピきら」学級との交流

- ・千厩分教室小学部「ハピきら」学級との交流，共同学習を通して，障がいのある子と「共に学び，共に育つ」教育の推進を図り，共生社会実現の基礎を培う。

(5) 家庭・地域との連携協働

①家庭との連携協働

- ・「まなびフェスト」を周知し，学校と保護者が目標達成に向けて意識を共有する。
- ・学校行事，授業参観，懇談会等を通して，児童の様子を公開し，教育理解を深める。
- ・校報，ホームページ，通信等により，積極的に情報発信する。
- ・「まなびポケット」を活用し，緊急連絡等について迅速に情報発信する。

②地域人材や資源を活用した教育活動の推進

- ・学校運営支援協議会での熟議等を通して，郷土を愛し，その発展を支える人づくりを目指した教育活動を推進する。
- ・地域の人材，自然，文化，施設を積極的に活用するとともに，学校支援地域本部事業（学校支援ボランティア）や地域の諸団体と連携協働した教育活動を推進する。
- ・こ・保・幼・小連携を深め，スタートカリキュラムにもとづき円滑な接続を図る。
- ・千厩中学校との連携を深め，中1ギャップの予防に努め，円滑な接続を図る。

(6) 学校安全と教育環境整備

①学校安全

- ・定期，随時の安全点検の確実な実施と早期の補修を行う。
- ・感染予防対策と非常時・災害時の児童の安全確保に努める。
- ・安全指導や訓練，研修等により，児童，職員の安全意識や危機管理意識の醸成に努める。

②教育環境整備

- ・校舎内外の美化と設備，備品の整理に努める。

③児童，職員のウェルビーイングの向上

- ・心身の健康等，児童や教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングを確保する。
- ・コンプライアンスの順守に努める。

4 今年度の最重点項目

(1) 自ら学ぼうとする児童を育成すること

- ・分かる喜びや共に学ぶ楽しさが実感できる指導の工夫を行う。
- ・授業改善を通して，自ら学ぼうとするための手だてを講じる。
- ・授業改善を通して，対話の充実を図るための手立てを講じる。
- ・校内研究，研修をとおして，職員の指導力の向上を図る。

(2) 家庭・地域と連携協働した教育活動を推進すること

- ・「まなびフェスト」をもとに，児童・保護者・教職員の三者が目標を共有し，家庭と連携協働して目指す児童の育成を図る。
- ・学校運営支援協議会や地域の方々と連携協働しながら，千厩の豊かな人材や素材を最大限活用し，郷土を愛し，その発展を支える人づくりを目指した教育活動を推進する。

令和7年度 一関市立千厩小学校の教育 グランドデザイン

【学校教育目標】「自ら学び新しい時代を拓き 心豊かにたくましく生きる 児童の育成」
 【めざす児童像】「心かよい合う子」「まなび合う子」「きたえ合う子」

【今年度の重点】

- 主体的に学ぼうとする児童を育成すること
 - (1)分かる喜びや共に学ぶ楽しさが実感できる指導の工夫を行う。
 - (2)授業改善を通して、自ら学ぼうとする手立て、対話の充実を図るための手立てを講じる。
 - (3)校内研究・研修により指導力を向上する。
- 家庭・地域と連携協働した教育活動を推進すること
 - (1)「まなびフェスト」をもとに、児童・保護者・教職員の三者が目標を共有し、家庭と連携協働して目指す児童の育成を図る。
 - (2)学校運営支援協議会や地域の方々と連携協働しながら、千厩の豊かな人材や素材を最大限活用し、郷土を愛し、その発展を支える人づくりを目指した教育活動を推進する。

心かよい合う子

- (1)豊かな人間性の育成をめざした、心かよい合う学級経営と生徒指導
- ① 思いやりの気持ちをもち、互いを尊重し合える児童の育成
 - ・「いじめ防止基本方針」・組織的な生徒指導
 - ・体験的活動
 - ② 責任をもち、協力して活動できる児童の育成
 - ・縦割り活動等の児童相互の関わり合い
 - ・思いやりと自己有用感
 - ③ 場に応じた言葉づかいや挨拶、行動ができる児童の育成
 - ・挨拶や返事の励行 ・場に応じた言葉づかい
- (4)特別支援教育の充実と清明支援学校「ハピきら」学級との交流・共同学習の充実
- ① 特別支援教育の充実
 - ・教育的ニーズに応じた計画的推進
 - ・通常学級における特別支援教育の視点
 - ② 「ハピきら」学級との交流
 - ・交流・共同学習
 - ・「共に学び、共に育つ」教育
- | | |
|----------------|-----|
| ◇「学校は楽しい」 | 95% |
| ◇「挨拶・正しい言葉づかい」 | 85% |
| ◇「協力して働く」 | 90% |

まなび合う子

- (2)学び合う姿勢の育成と分かる授業づくりによる確かな学力の定着
- ① 主体的に学ぼうとする児童の育成
 - ・分かる喜びや共に学ぶ楽しさ
 - ・授業改善 ・自ら学ぶ、対話の充実
 - ・校内研究、研修
 - ② 基礎的・基本的な学力を身につける児童の育成
 - ・補充、習熟の時間
 - ・確かな言語能力や漢字、計算等の基礎的な力
 - ・読書、家庭学習の習慣化
 - ・諸調査結果の分析
 - ③ ICTを活用した授業デザイン
 - ・個別最適な学び、協働的な学びの観点
 - ・情報活用能力、情報モラル
- | | |
|------------------------|-----|
| ◇「授業がわかる
集中して学習」 | 90% |
| ◇「話をしっかり聞く
考えを発表する」 | 90% |
| ◇「読書・家庭学習」 | 90% |

きたえ合う子

- (3)たくましい心と体、健康・安全意識の育成
- ① 生活リズムを整え、健康で生活できる児童の育成
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」やメディア利用
 - ・衛生習慣と肥満の予防改善
 - ② 目標をもち、根気強く体を鍛える児童の育成
 - ・目標をもたせた体育指導
 - ・保健、安全、食育指導等による健やかな体
 - ③ 決まりの意味を考え、安全を意識して生活できる児童の育成
 - ・安全、防災意識
 - ・「いわての復興教育」
- | | |
|----------------|-----|
| ◇「決まりを守り安全な生活」 | 90% |
| ◇「体力づくり」 | 90% |
| ◇「望ましい生活習慣」 | 90% |

・ : 取組のキーワード
 : まなびフェスト達成目標

【学校経営の基盤】

(5)家庭・地域との連携協働

- ① 家庭との連携協働
 - ・「まなびフェスト」・情報発信（参観・通信・HP等）・緊急連絡
- ② 地域人材や資源を活用した教育活動の推進
 - ・学校運営支援協議会
 - ・学校支援地域本部事業（学校支援ボランティア）や各種団体の活用
 - ・保育園、幼稚園、中学校との連携

(6)学校安全と教育環境整備

- ① 学校安全
 - ・安全点検と補修 ・安全確保 ・安全指導等
- ② 教育環境整備
 - ・校舎内外の美化と設備、備品の整理
- ③ 児童、職員のウェルビーイングの向上
 - ・心身の健康等 ・コンプライアンス

学校では

**めざす
子どもの姿**

家庭では

1 明るく温かい学校生活を送ります。
 ◇「学校は楽しい」 (注)95%[アンケート]

2 元気なあいさつや正しい言葉づかいをします。
 ◇「元気なあいさつをする」「相手をきずつける言葉をつかわない」 85%[アンケート]

3 学級や委員会の仕事、たてわり掃除に協力して取り組みます。
 ◇「協力して働く」 90%[アンケート]

心かよい合う子



1 あいさつや正しい言葉づかいをさせます。
 ◇「あいさつや場に応じた言葉づかいをする」 80%[アンケート]

2 家族の一員として、家の仕事や手伝いをさせます。
 ◇「家庭内で仕事や手伝いをする」 70%[アンケート]

1 授業がわかるように、集中して進んで学習に取り組みます。
 ◇「授業がわかる」「集中して学習する」 90%[アンケート]

2 相手の考えをよく聞き、自分の考えを進んで話します。
 ◇「話をしっかり聞く」「自分の考えを発表する」 90%[アンケート]

3 読書に親しみ、めあてをもって家庭学習に取り組みます。
 ◇「たくさん本を読む」「めあてをもって家庭学習をする」 90%[アンケート]

まなび合う子



1 テレビなどを消して、家庭学習や読書に取り組みさせます。
 ◇「学習中はノーメディアにする」 70%[アンケート]

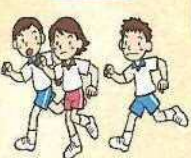
2 家庭学習を習慣化させます。
 ・家庭学習の目標時間
 10分×学年+10分以上
 ◇「各学年の目標時間に取り組ませる」 70%[アンケート]

1 決まりを守り、安全な生活をします。
 ◇「決まりを守り安全な生活をする」 90%[アンケート]

2 めあてをもって体力づくりをします。
 ◇「めあてをもって体力づくりをする」 90%[アンケート]

3 望ましい生活リズムを身に付けます。
 ◇「早寝・早起き・朝ごはん」「メディア(ゲーム・ネットなど)利用の約束を守る」 90%[アンケート]

きたえ合う子



1 早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムを身に付けさせます。
 ◇「早寝・早起き・朝ごはんの習慣をつける」 70%[アンケート]

2 メディア利用の約束を決め、定期的に話し合います。
 ◇「ゲーム、通信機器の利用時間や約束を話し合う」 70%[アンケート]

◇達成目標 目標値【評価方法】

(注):アンケートの肯定的評価等の割合 (他の目標値も同様)



駒場の丘

【教育目標】
 自ら学び 新しい時代を拓き
 心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ・心かよいあう子
- ・まなび合う子
- ・きたえ合う子

第2号 R7.5.29(木)
 文責：伊東

千厩小学校・一関清明支援学校千厩分教室小学部 大運動会

スローガン「笑顔 協力 最後まで」

5月24日(土)には、雨や強風、熱中症の心配のない屋外での活動には適した天候のもと、運動会を開催することができました。子供たちは、これまでの練習の成果を発揮し、競技、応援、係活動に頑張りました。

PTA 役員の皆様方には、写真撮影や駐車場の誘導などのご協力ありがとうございました。また、ご家族の皆様には、これまでの健康管理や励まし、当日の温かい声援、拍手などに対し、心より感謝いたします。力の限り頑張った子どもたちを称え、運動会の成功を皆で喜び合いたいと思います。



運動会スローガン



1年生による開会のことば



ラジオ体操



エール交換



徒競走



陣地での応援



「千厩にひびかせろ！」(中学年)



「花ざかりの君たちへ」(高学年)



「ぼくらが主役！」(低学年)



係活動

観客席（観覧ありがとうございます）

さすが千厩の保護者です

運動会では、子ども達から様々な感動を与えてもらいましたが、ご家族の皆様の行動にも、感心、感動する場面がありました。それは、運動会が始まる前の早朝の出来事です。早くから駐車場で待機している車が何台もありましたが、事前にお伝えしていた6時半前に場所取りをする方は一人もいませんでした。他校の中には、残念ながら指定時間を守らずに前日からの場所取りをしている方がいることもありましたが、千厩小の保護者の方は全員がルールを守り行動してくれました。運動会中の応援、写真撮影等のマナーもよく、さすが千厩小の保護者だとうれしく思いました。「子は親の鏡」とも言いますが、そのような親の姿を見て、子ども達は育っているのですね。

地域の方々へ感謝

運動会に先立つの5月15日（木）には、地域のボランティアの方が6名来校され、校庭の草取りをしてくださいました。おかげで、よい環境の中で運動会を行うことができました。5月末のプール掃除でも、地域のボランティアの方が来てくださいます。これまでも、家庭科の授業でのミシンボランティア、生活科や総合的な学習の時間などでのゲストティーチャーや見学のお世話、交通安全指導や挨拶運動など、様々なご支援、ご協力をいただけてきました。本校は、コミュニティスクールとして、地域の方々から多大なお力添えをいただいていることに、心より感謝申し上げます。

